

目標達成計画

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念を基にした年間の目標と、ユニット毎の理念を掲示しているが、達成度の確認を行い、次のステップに繋げていく必要がある。	ユニットの特色やチームケアが図れる目標を掲げ、その目標を共有して実践に繋げていき、ユニット会議にて評価を実施していく。	①目標の設定には職員の意見を取り入れる。 ②ユニットの特色を活し、チームケアに繋がれる目標を設定する。 ③半年毎にユニット会議にて評価を実施し、次のステップに繋げる。	6ヶ月
2	35	現在の災害対策は、火災や地震に備えたマニュアルや訓練となっており、いろいろな災害を踏まえた複合訓練の必要性がある。	台風、竜巻、集中豪雨、豪雪、停電などに対応できる情報を整備し、周知していく。	①防災委員会を中心に情報を整備し、訓練にも活かしていく。	6ヶ月
3	38	職員の都合に合わせて誘導したり、介助することがある。	一人ひとりのペースや思いに合わせて、希望に沿った対応を行う。	①業務を優先してしまうことがないように、職員間の理解と協力を徹底する。 ②状況に応じた、業務改善を随時行なう。	3～6ヶ月
4	13	法人外の研修を受講する職員に偏りが出てきている。	認知症の理解や最新の情報を習得するために自主的に研修に参加できるような指導と体制を構築する。	①研修に参加する事よっての知識や考え方の向上を全体ミーティングを通じて伝える。 ②全体に周知するほか、内容により委員会などの適任者に研修の情報を報告する。	3～6ヶ月
5	48	ADLの低下に伴い、役割が一部の利用者になってしまっている。	その方に合った役割を創出し、一緒に準備や片づけをする機会を多くする。	①身体機能に合わせた作業や楽しみを創作する。	3～6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。